

胆振地区 新規就農者紹介



【牧場に刻まれた祖父との絆】

白老町で生まれ、小学校卒業まで同町で過ごしました。幼い頃は、祖父が営む牧場が私の遊び場で、トラクターに乗せてもらったり、牧場内の川で釣りを教わったり、温泉に一緒に入ったりと、祖父と過ごした牧場での日々は、今でも心に残る大切な思い出です。その後、父の転勤に伴い静岡県へ移り住み、年月を重ねる中で、愛知県の大学院へと進学。小学生の頃から続けていた陸上競技への情熱を胸に、陸上競技用品の開発者を志して研究に励んでいました。そんな折、令和6年初頭に祖父が突然体調を崩し入院。そのまま、容態は急変し逝去。その時、祖父が大切に築いてきた牧場を守る決意をしました。



幼少期は祖父に乗せてもらったトラクターも、今は自分で運転しています。

2025年8月取材

有限会社 ブリーディング白老牧場

代表取締役

曾我 司 さん（白老町）

就農年：2024年3月

経営形態：畜産（黒毛和牛（あべ牛・白老牛）約300頭）

出荷頭数：約180頭（卸先：阿部牛肉加工株式会社）

経営面積：99.1ha（管理牛舎10棟）

【牧場の代表取締役として経営を開始】

幼い頃から親しんできた牧場ではありましたが、仕事として、経営者として関わるのは初めてでした。祖父の急逝に加えて、前牧場責任者の退職も重なり、まさに右も左も分からない状態からの始まりでした。

【勉強の日々】

牧場経営のために、50本以上の論文を読み込みましたが、文献と現場の違いに戸惑うこともありました。それでも蓄積された知識は、後の判断や行動に役立っています。さらに、取引銀行の紹介で、他町の牧場で学ぶ機会を得たことや、飼料業者や近隣牧場の皆さまからの温かい支援にも恵まれました。未経験の分野ではありましたが、前進できているのは、周囲の支えがあってこそです。

【地域貢献への思いも継承】

地域の皆さまに支えられてきたことへの感謝の気持ちを込めて、祖父の時代から、町内の小中学校の給食に「あべ牛」を無償で提供してきました。これからもこの取組を続けながら、新たな地域貢献を模索し、変わらぬ思いで地域への恩返しを続けていきたいと考えています。

【最高の仲間たちと支え合う日々】

牧場を継いだ当初は、従業員との関係づくりに苦労しました。突然現れた若い代表者に対し、戸惑いや不安を感じていたと思います。それでも、何度も対話を重ねることで、ほどなく打ち解けることができました。中でも、幼い頃に牧場で遊んでもらった、20年以上勤める大ベテラン従業員の中村さん(写真(右))の存在は、大きな支えでした。現場の知識は誰よりも豊富で、牛の健康状態や飼料のことなど、分からないことは、なんでも教えてくれます。



エドさん

曽我さん

中村さん

(写真(左)) エドさんは、インドネシアから畜産を学びに来日したエンジニア。
(写真(右)) 中村さんは、幼い頃から知っているベテラン従業員。

たまの休日には、従業員のエドさん(写真(左))と、もうひとりのインドネシア人従業員と一緒に出掛けることが多いです。同じ年齢ということもあり、通じ合えることが多く、そのかけがえのない時間を大切にしています。

現在牧場では、白老町や苫小牧市出身者を中心に7名が働いています。そのうち3名が女性です。祖父の時代から女性比率が高く、特に繁殖部門では、女性の丁寧さや繊細さが活かされ、重要な役割を担っています。また、他の牧場ではあまり導入されていない週休二日制を取り入れ、働きやすい環境づくりにも力を入れています。牧場の働き方のイメージを変えていきたいと考えています。

【牛たちは牧場で健やかに肥育されています】

牧場では「あべ牛」と「白老牛」のブランド牛を肥育しています。特に「あべ牛」はオリジナルブランドとして、北海道洞爺湖サミットの晩餐会に提供されました。



清掃された牛舎と自動給餌機

広々としたスペースで快適に過ごす牛

牛舎内は常に清潔を保ち、特に敷料は頻繁に交換しているため、牛舎特有の臭いはほとんど感じられません。牛舎の広さは、牛がストレスなく快適に過ごせるよう、一般的なスペースの約2倍を確保しています。エサは、牧場で管理された高品質な乾牧草と配合飼料を使用。配合飼料は自動給餌機で定量管理しており、牛の栄養状態を調整することで、肉質の向上につなげています。飲み水は、地下から汲み上げたミネラル豊富な水を、個体別に使用。こうして、こだわりの和牛を生産しています。

【今後の展望】

牧場のオリジナルブランド「あべ牛」の価値をさらに高めるため、出産から肉用出荷までの完全一貫生産を目指したいと考えています。また、地域に根ざした就農支援や農泊、飲食店の経営にも挑戦したいです。こうした多角的な取組を通じて、自分にしかできない、地域資源の活用や人と地域がつながれる場づくりに貢献し、地域と共に持続可能な未来を築いていきたいと考えています。

【農業者になりたい方々に伝えたいこと】

勉強は大切です。知識は状況を正しく理解させ、現場での経験を、より早く、深く身に付けることができます。